

# 一般社団法人 箕面市農業公社

～ 「農ある箕面のまち」 を次世代につなげる！ ～



「農ある箕面のまち」を次世代へ継承

地産地消の推進

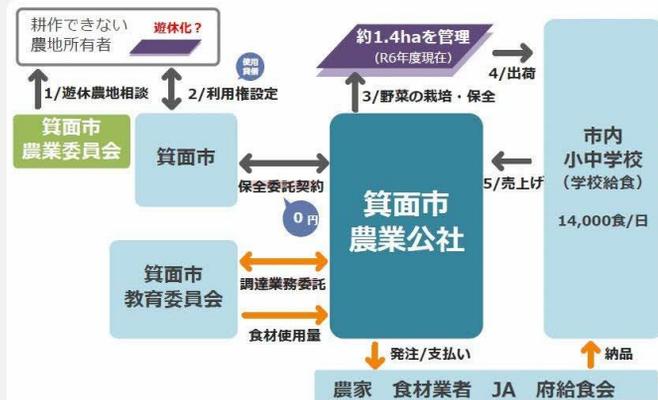
担い手確保

都市農業の振興

大阪府箕面市



## 箕面市農業公社の概要 事業の全体像



箕面市農業委員会事務局農業振興室



遊休化した農地を再生



学校給食への活用

## 概要

★平成24年に実施した農業者へのアンケート調査結果により、市内農業の衰退が明らかとなったことから、農業者の悩み（販路の確保、新たな担い手の育成、農地の保全）を解決するため、箕面市農業公社（公社）を設立。

★公社は遊休農地を借り受け再生し、公社従業員が野菜を生産。市内農業者が生産した地元産野菜とともに市内すべての小中学校の給食に使用。その納品調整等の業務も一括して担当している。

★公社従業員を新たな担い手として育成し、独立を支援。希望者には所有者の同意のもと再生した農地を提供し、公社に依存しない持続的な都市農業体制を構築。

## 成果

★平成25年度から、後継者不在により遊休化していた農地を借り受け、令和元年度には約5haの不耕作農地を保全し、令和4年度について市内の遊休農地「ゼロ」を実現。

★平成29年第10回耕作放棄地発生防止・解消活動表彰事業 全国農業会議所会長賞受賞

★1日14,000食の学校給食に地元産野菜を活用することで、市内農業者の販路確保と地産地消の推進につながった。大阪府の学校給食（小中学校）における地産地消率の平均は6.6%であるが、箕面市内中学校の箕面市産野菜の使用率は、令和元年度以降は25%を超え、令和3年度には30%を達成。地域農業の活性化と子どもたちの食の安全・安心の両立に大きく貢献。

★令和7年3月時点で、7名の若手農業者が約2haの農地で独立就農をしている。